

【住民参加企画】

まちのこえ



～広報広聴委員が聞く～

幕別高校を訪れボランティア局にお邪魔すると、局長の裏真治君、副局長の豊吉花蘭さん、局員の菊池優華さん、高西萌々佳さん、顧問の岡本先生が、笑顔で迎えてくれました。



◆ボランティア局の紹介をお願いします。

◇私たち総勢 15 名の局員は、「ボランティア活動を通して、地域に積極的に働きかけ、生徒一人一人が『役に立つ』、『必要とされる』実感を得て、自己肯定感を高める。また、幕別高校の生徒としての誇りを持ち、地域に貢献しようとする態度と姿勢を養う」という目的を持って活動しています。

◆どんな活動をしていますか？

◇生徒会などと一緒に 40 名以上が参加して年二回の通学路地域清掃、緑の募金（街頭募金活動）、花のプランターづくり、サマーフェスタ会場のゴミ拾い、特別養護老人ホームの夏祭り手伝い、餅つき大会手伝いなど、地域に出て地域の皆さんとかかわりを持った多彩な活動を行っています。

◆活動を通してどんなことを感じていますか？

◇特別養護老人ホームでの活動では、餅つきでの掛け声や一緒に歌ったり、感謝されて笑顔があふれ、やってよかったと思います。清掃活動で街がきれいになると気持ちがいいし、普段の生活にも生かされています。人と人がかかわることができる活動をこれからもしていきたい。一緒に活動して先輩と後輩が仲良くなれる良さがあります。



街頭募金活動の様子

◆町や議会のことをどう思いますか？要望等ありますか？

◇局として、役場・教育委員会表敬訪問を行っています。町のことを考えて活動してくれていると感じました。協力できたらいいなと思います。養護学校分校の生徒と同じように給食が食べたいです。町の中に若者が集える場所が欲しいです。

（聞き手 野原恵子 増田武夫）

編集後記

広報が特別委員会から委員会になって2年がたち、委員も5人から9人体制でスタートしました。

議会報告会等を通じ町民の皆さまには議会の動きをわかりやすく伝えたいつもりではありますが、まだまだ改善する点があると思います。一人でも多くの読者を増やすべく、これからも委員一丸となって努力する所存でありますので、より一層のご愛読をお願い申し上げます。

田口廣之

議会広報広聴委員会

（旧）委員長 芳滝 仁 副委員長 寺林俊幸

委員 東口隆弘 藤谷謹至 岡本眞利子

藤原 孟 田口廣之 野原恵子 増田武夫

（新）委員長 谷口和弥 副委員長 岡本眞利子

委員 板垣良輔 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子
若山和幸 小島智恵 東口隆弘

〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

議会を傍聴して

札内豊町 樋渡 敦

4期16年。岡田和夫町長「最後の議会」を傍聴させていただきました。理事者側と議会側、いやそれ以上に岡田町長と各議員との「やりとり」に信頼関係の深さや重みが傍聴席の私の所まで伝わってきました。



行政と議会が両輪となり、そこに町民が参加することによって三位一体となって「活力」と「魅力」のある、そして住んでみたい、住んで良かったと言ってもらえる幕別町に是非していただきたいと思います。永きに渡り町政のかじ取り、町民との対話に尽力されました事に心より感謝とお礼を申し上げますとともに敬意を表します。